

闘病記ライブラリー完成

病種別にネットで検索

患者や家族らがつづつ闘病記を病氣別に探し出せる「闘病記ライブラリー」を、国立情報学研究所の高野明彦教授と市民団体が共同で作成し、インターネット上で公開している。

闘病記は、同じ病気に苦しむ患者が、治療法や病氣に対する心構えなどを知るのに役立つが、題名だけでは、闘病記かどうか、どの病氣に関する本なのかかわからないことが多い。図書館などに闘病記専用のコーナーを設ける活動を続けている「健康情報棚プロジェクト」（石井保志代表）にも、そうした不満が寄せられたことから、高野教授と同ライブラリーの整備を進めてきた。

同ライブラリー（<http://toubyoki.info/>）を開き、がん、脳、心、血液、小児など12テーマから一つ選択すると、子宮がんや白血病など57の病名が表示され、約700冊の闘病記が一覧できる。

背表紙のタイトルを選ぶと、目次や前書きのほか、要約や解説も見ることができ、著者がどんなことに悩み、なぜ闘病記を執筆したかなどがわかる。また選択した闘病記を所蔵する図書館も表示される。

石井さんは「どんどん冊数を増やしていくので、患者が医療情報を入手する手段として活用して欲しい。介護の体験記なども扱っていききたい」と話している。

- 2 闘病記、ネットで簡単検索
- 2 NY市長 禁煙を強力支援
- 3 早実24年ぶり8強